

月刊 さいとう健けん

発行所：自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所：〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：03-3581-6211(代表) ホームページ：http://www.jimin.jp/

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。3期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長を経て、現在、農林水産副大臣として農政
改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)



やっぱり男

4月号
平成28年4月10日発行

「アベノミクスを 考える！」

アベノミクスは成功なのか、失敗なのか、さまざま議論が行われておりますが、今号では、アベノミクスについてのさいとう健の見方をご紹介しますと思います。

＜復習・アベノミクス発動の背景＞

まず、アベノミクスを行うに至った背景を振り返ってみたいと思います。
平成24年12月、安倍政権が誕生する前、先進国の中では、日本だけが15年にわたるデフレに苦しみ、日本だけが低成長にあえいでおりました。
デフレ経済の下では、物価が下がり続けますので、企業がせっかく設備投資をしても収入は目減りしていくことになります。ですから、借金してまで投資をしようという意欲は失せます。
また、年々物価が下がるのでしたら、あとで買った方が得だということになり、個人消費も盛り上がりません。
結果、先進国の中で、日本だけが経済活力を失っていったのです。

＜アベノミクスの狙い＞

アベノミクスの狙いは、この縮こまったデフレマインドを前向きに転換して好循環を作り上げていこうというものであったのです。
(裏面に続く)



ボーイスカウトの子どもたちが副大臣室へ挨拶に来てくれました。

コラム

3年前 → 日本経済3年間の変化 → 平成28年3月

名目GDP <small>(出典)内閣府「四半期別GDP速報」</small>	473兆円 <small>(平成24年10-12月期)</small>	27兆円増加	500兆円 <small>(平成27年10-12月期)</small>
企業収益 <small>(出典)法人企業統計季報(経常利益(金融業、保険業を除く))</small>	49.6兆円 <small>(平成24年)</small>	過去最高水準	70.8兆円 <small>(平成27年)</small>
株価 <small>(出典)ブルームバーグ</small>	8,661円 <small>(平成24年11月13日)</small>	一時2万円台をつける	16,758円 <small>(平成28年3月31日)</small>
賃上げ率 <small>(連合集計)</small>	1.72% <small>(平成24年)</small>	17年ぶりの高水準	2.20% <small>(平成27年)</small>
失業率 <small>(出典)総務省「労働力調査」</small>	4.3% <small>(平成24年12月)</small>	18年ぶりの水準	3.2% <small>(平成28年1月)</small>
有効求人倍率 <small>(出典)厚生労働省「一般職業紹介状況」</small>	0.83倍 <small>(平成24年12月)</small>	24年ぶりの高水準	1.28倍 <small>(平成28年1月)</small>
倒産件数 <small>(東京商工リサーチ)</small>	12,124件 <small>(平成24年)</small>	25年ぶりの低水準	8,812件 <small>(平成27年)</small>

(おもて面から)

つまり、年率2%の物価上昇を実現し、投資や消費を前向きなものにしていこうというものであり、このようなインフレ目標を掲げて経済政策を行うということは、既に多くの先進国でも行われているものであります。

まずは、日銀と協力して異次元の金融緩和に踏み切り、2%の物価安定目標も設定いたしました。同時に、最初から民間の設備投資が盛り上がるということは考えにくかったので、先行的に財政出動による景気対策を講じました。さらには、中長期的な成長戦略も組み上げていくという段取りで、アベノミクスが実行に移されていくことになったのです。いわゆる三本の矢です。

<アベノミクスの結果>

そして、3年あまりが経ちました。日本経済はどうなったでしょうか。景気回復の実感がないという方も多くおられるのもよく承知しておりますが、基本的データは押さえておく必要があると思いますので、おもて面のコラムに掲載させていただきました。皆さんは、これをどう判断されますでしょうか。

<アベノミクスの評価>

さいとう健には、正直、現在のわが国経済は安定成長軌道に乗り切れていないように見えます。

ただ、ここで大事なことは、これでアベノミクスが失敗したとみても絶対にいけないということです。直近のわが国経済の状況は、一つは、中国経済の不安定化によるものであり、もう一つは、消費税の8%への引き上げが予想以上に景気に悪影響を与えたことによるものと考えられます。つまり、両方とも、アベノミクスとは直接関係のない原因によって引き起こされたものであり、これによって、アベノミクスが失敗だったと判断することは、間違っているということです。

ここは、大変大事な点だと、さいとう健は思います。

デフレ経済からの脱却はいまだ道半ばであり、デフレ脱却に向けてもうひと踏ん張りしていくことこそが、20年近くにわたるわが国経済の停滞から抜け出し、自信を取り戻していく唯一の道だと思います。

そして、今国会で審議されておりますTPP。農林水産業には少なからぬ影響が出る点は副大臣として大変じくじたる思いはあります。が、だからこそ、影響に対して万全の対策を講じながら、TPPをわが国経済の成長のために生かし切るという発想に立たねばなりません。世銀の分析では、TPPによって、わが国経済の成長が2.7%押し上げられる、ということなんですから。

20年にわたる経済停滞です。そう簡単に治るものではないでしょう。ですが、この道以外に、日本経済を再び安定成長路線に乗せていく道は私には思いつかない。そして、経済成長の果実を、医療、介護、子育てなどの社会保障にやさしく使っていく。

やはり、この道しかない、さいとう健はこう確信しています。



待望のキッコーマンアリーナ竣工式。地元活性化と防災能力向上を期待。



流山産業博にてブースの皆さんと。そろそろ肌の手入れも必要なのかな。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。ぜひ企画して呼びびいただければ幸いです。

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224 E-mail:info@saito-ken.jp
さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221



討議資料

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
返信すれば匿名で意見を伝えられます。
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>